

1. 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けたスポーツ・レクリエーション事業の展開

- ①2020年に向け、夢や目標に向かってチャレンジする事を目標として、スポーツ・レクリエーションの一層の普及・振興に努め、生涯スポーツ社会の実現、健康長寿のまちづくり・人づくりに寄与する。
- ②障がい者を対象にしたスポーツ・レクリエーション事業の充実および支援者の育成、交流事業、活動支援事業に取り組み、障がい者スポーツ・レクリエーションの振興、社会参加に貢献する。
- ③スポーツ・レクリエーションの「心を動かす力」を発揮し、「誰でも主役になれる」事業の取り組みを行い、笑顔溢れる多彩な事業展開を行う。
- ④広報の充実のため多様な広報媒体を活用した情報発信に努め、子どもから高齢者まで多彩な事業展開し、2020年東京オリンピック・パラリンピックへの関心とスポーツ・レクリエーション事業への関心を高め、参加を促す。

2. 健康長寿のまちづくり・人づくり事業

市町村で自立的な支援活動を行う事が可能な県公認指導員の育成と活用に努め、健康長寿のまちづくり・人づくり事業や、寝たきり予防・介護予防・生活習慣病予防事業等の充実を図ると共に、専門性の高い支援者の育成・養成を行い、「健康と楽しみと生きがいに充ちたライフスタイルづくり」、「健康長寿社会」の実現に寄与する。

3. 協会設立40周年、NPO法人化15周年を記念し「協会のあゆみ（仮称）」の編纂・発行

平成30年協会設立40周年、NPO法人化15周年を迎える。この記念すべき年に県レクリエーション協会の設立から今日までを振り返ると共に、未来につなげるメッセージを織り込んだ記念誌を発行する。 ※発行予定日：平成30年1月6日（NPO法人化15周年記念日）

4. 組織の充実強化、加盟団体の育成・活動支援

- ①常務理事会・専門部会を中心として、組織の充実強化及び加盟団体の活動支援を行う。
- ②市町村レクリエーション協会・種目・領域別団体会議や課程認定校会議を開催し、加盟団体の人材育成支援、活動支援に努め組織の充実強化を図る。
- ③組織の強化充実を図る人材育成事業に取り組む。
- ④費用対効果を意識し、収益性の高い事業を展開すると共に、新規事業開拓にも努める。

5. 人材育成と有資格者活動支援事業の実施

- ①レクリエーション・インストラクター養成新カリキュラム導入に伴い、市町村レクリエーション協会、加盟団体が開催する養成講座を支援し、人材の育成・活用に努める。
- ②市町村レクリエーション協会、加盟団体との連携を図りながら、県公認指導員及びレクリエーション・インストラクターの積極的な活動機会の場づくりに取り組む。
- ③ニュースポーツ、健康・体力づくり指導者養成講習会等を開催し、生涯スポーツ・レクリエーションの普及・啓発に貢献する人材育成に努めると共に有資格者活動支援や活用を促進する。

6. 助成金活用による事業の活性化

スポーツ振興くじ(toto)助成金及び子どもゆめ基金助成金を活用し、障がいのある人も含めた全ての人を対象にした生涯スポーツ・レクリエーションの一層の普及・振興を図るため、人材育成事業をはじめ各種事業の実施、活動支援事業等を行う。

7. 広報力の強化

- ①スポーツ振興くじ(toto)助成金を活用し機関誌「県レクニュース」の充実に努める。
- ②加盟団体の広報力強化・充実セミナーを開催する。
- ③プレスリリースの発行や多様な情報ツール活用した情報発信に努めるとともに、他団体の広報媒体と連携・活用し、新規市場の開拓に結びつく情報発信に努める。

1. 大会、講座、教室

(予算額：2,300千円)

◆新規事業

(1) 体育の日・スポレクフェスティバル2017 (受託事業)

(予算額：500千円)

実施期日 平成29年10月9日(体育の日)

会場 ①アクション福岡(福岡県スポーツ振興センター受託事業)

②◆福岡市東体育館(福岡スポレク マネージメントグループ受託事業)

③◆福岡市西体育館(福岡スポレク マネージメントグループ受託事業)

従事人数 加盟団体会員、レクリエーション指導者、ニュースポーツ団体を中心に約300名

受益対象者 不特定の県民約5,000名

事業内容 アクション福岡では、福岡県障害者スポーツ協会および福岡県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会と共同開催。

福岡市東・西体育館「体育の日・スポレクフェスティバル2017」は、指定管理者であるNPO法人福岡市レクリエーション協会事業に共催、協力・支援する。

子どもから高齢者まで、誰でも参加でき楽しめる多彩なスポーツ・レクリエーション事業を展開し、スポーツ・レクリエーションの普及・振興に寄与する。

(2) 「スポーツフェスタ・ふくおか2017」の開催(受託事業)

(予算額：300千円)

「ソフトダーツ交流大会」「ウォークラリー交流大会」を開催。幅広い県民にスポーツ・レクリエーションを気軽に楽しんでもらう機会を設ける。

(3) 第17回福岡県ねんりんスポーツ・文化祭(受託事業)

(予算額：200千円)

実施期日 平成29年11月11日(土)北九州市で開催。 ※メイン会場：「若松区体育館」

従事人数 種目団体、北九州・筑豊・京築地区レクリエーション協会会員を中心に約100名

受益対象者 主として60歳以上の不特定の県民約10,000名

事業内容 スポーツ・文化活動を通じた高齢者の生きがい・仲間・健康づくりを支援する。

(4) ニューカレピック(課程認定校交流大会)

(予算額：200千円)

実施期日 平成29年6月25日(日)福岡市城南体育館で開催。

従事人数 300名

受益対象者 周辺地域住民、県内の課程認定校(大学・短大・専門学校)生約1,000名

事業内容 次代を担う課程認定校生の交流と学校の専門性を生かした県民サービス事業を展開し、「喜ばれるよろこび」体験と共に、学生の企画力・指導力・運営力の向上に努める。

(5) スポーツ・レクリエーション教室

(予算額：100千円)

スポーツ・レクリエーション部会を中心に子どもから100歳以上の人までを対象とした健康・体力づくり事業や各種審判員養成講習会や大会などを開催すると共に、加盟団体事業を支援しスポーツ・レクリエーションの普及振興を図る。

(6) 障がい者スポーツ・レクリエーション事業の実施・活動支援 (予算額：800千円)

①平成29年6月24日(土)福岡市特別支援学校PTA連合会主催レクリエーション大会に協力・支援。

※子どもゆめ基金助成事業「障がい児親子ふれあいの広場」 交付予定額：299,000円

②平成29年10月28日(土)人にやさしい町“田川をつくる会”レクリエーションに協力・支援。

③「障がい児スポーツ・レクリエーション指導者養成講習会」を開催し、障がい者に関わり支援をする人材の育成に努める。 ※子どもゆめ基金助成事業 交付予定額：191,000円

④関係団体と連携・協力し、障がい者を対象としたスポーツ・レクリエーションの普及振興に努め、生涯スポーツ・レクリエーション社会の実現に寄与する。

(7) 生涯スポーツに関する普及活動 (予算額：200千円)

NPO法人福岡市レクリエーション協会指定管理業務に伴う今宿野外活動センター、福岡市東・西体育館のスポーツ・レクリエーション事業及び加盟団体の活動を支援すると共に、連携協力して野外活動、生涯スポーツ・レクリエーション事業を開催し、生涯スポーツ・レクリエーションの普及・振興に努める。

2. 指導者養成・活動支援事業 (予算額：3,250千円)

(1) スポーツ・レクリエーション指導者育成事業 (予算額：600千円)

※スポーツ振興くじ(toto)助成事業 交付予定額：462,000円

スポーツ庁の掲げる「2020年東京オリンピック・パラリンピックの成功と健康長寿社会づくり」の目標に基づき、多様なスポーツ・レクリエーションの普及を図るため、担い手となる人材育成に努めると共に、公認指導者・公認指導員のレベルアップに努める。

(2) レクリエーション・インストラクターの養成 (予算額：500千円)

新カリキュラム導入に伴う人材育成を推進すると共に、市町村レクリエーション協会が開催するレクリエーション・インストラクター養成講習会を支援し、連携を図りながら養成を行う。また、公認指導員のレクリエーション・インストラクター資格取得希望者を対象とした講習会の実施を検討する。

(3) レクリエーション・インストラクター資格証交付式の開催 (予算額：100千円)

実施期日 平成29年5月28日(日)

会場 パピヨン24・14会議室

受益対象者 新たに誕生したレクリエーション・インストラクター16名

事業内容 人材育成部会企画・運営による資格証交付式、優秀レポート発表会、研修会等

(4) 地域レクリエーションボランティア育成事業(受託事業) (予算額：1,000千円)

市町村や社会福祉協議会、県立高等技術専門校等からの委託を受け、地域福祉の向上に寄与するレクリエーションボランティアの養成を行う。

(5) 県レクリエーション協会公認指導員養成・資格証交付式 (予算額：100千円)

地域福祉の担い手である専門性を持った人材の育成に努め、所定の講習プログラムを履修した地域サロ
ンボランティア等に県レクリエーション協会公認指導員資格を付与。地域活動の励みにすると共
に、高齢者の健康づくり・体力づくり・仲間づくりに貢献する。県内10地区で開催予定。

目標：公認指導員 200名

(6) その他の人材育成事業(受託事業) (予算額：500千円)

私設病院協会看護学校ほか受託。レクリエーションの理論・実技をはじめ豊かなライフスタイルつ
くり、生きがいつくり、社会参加、ボランティア活動、健康づくり、青少年の育成、コミュニケーショ
ンワーク&ホスピタリティトレーニング等人材育成を支援する。

(7) レクリエーションハンドブック「楽しいをつくる」の販売促進 (予算額：50千円)

平成29年3月改訂されたレクリエーションハンドブック「楽しいをつくる」の販売促進に努め、
指導者の利用を促すと共に、収益の確保に努める。

(8) 資格審査・登録・更新事務事業 (予算額：400千円)

審査委員会を開催し、レクリエーション・インストラクター、県レクリエーション協会公認指導員ほ
か各種公認指導者・審判員の資格審査を行う。また、登録・更新に関する事務を行う。

年間申請・更新予定者：500名。

3. 保健、福祉に関する支援者の養成と活動支援 (予算額：2,800千円)

(1) 健康長寿のまちづくり・人づくり事業 (予算額：1,300千円)

① 健康長寿のまちづくり・人づくり事業 (予算額：700千円)

直方市で開催される「健康21世紀福岡大会」に参画し、「平均寿命＝健康寿命」をめざした健
康・体力づくり支援事業を行うと共に、県公認指導員を活用し、体力アップ、生活習慣病予防、
健康寿命延伸に貢献する指導者の育成および養成に努める。

また、「メタボリックシンドローム予防講習会」や「ロコモティブシンドローム予防講習会」の開
催や市町村健康・体力づくり事業の受託、指導者の派遣等を実施する。

② 介護予防レクリエーションセミナー (予算額：600千円)

実施期日 平成29年7月1日(土)～2日(日)

会場 アクシオン福岡

受益対象者 不特定の県民ほか約100名

事業内容 転倒防止、寝たきり予防などの介護予防、福祉現場で活用される多種多彩なレクリ
エーション財の提供を行い、「健康と楽しみと生きがいに充ちたライフスタイルづく
り」「健康長寿のまちづくり」に貢献する介護予防の担い手を育成する。

(2) 福祉レクリエーション支援事業

(予算額：1,000千円)

福祉レクリエーション関係者の支援力向上を図り、高齢者のQOL向上に貢献するため、健康長寿福祉部会を中心として、加盟団体、指導者等の活動を支援する。

① 福祉レクリエーションセミナー (予算額：800千円)

実施期日 平成30年2月3日(土)～2月4日(日)

会場 アクシオン福岡

受益対象者 不特定の県民約100名

事業内容 認知症予防や健康寿命延伸に貢献すると共に、支え支えられる社会の形成に貢献する人材の育成を行う。また、福祉現場で活用される多彩なレクリエーション財の提供を行い、福祉レクリエーションの担い手を育成する。

② 加盟団体活動支援事業 (予算額：200千円)

加盟団体が実施する福祉レクリエーション人材育成事業等を支援する。

(3) 介護予防事業(受託事業)

(予算額：500千円)

公財) 日本レクリエーション協会受託事業「元気クラブづくり」を筑紫野市、大木町で平成28年度継続事業として行う他、市町村等からの委託を受け年間を通じて実施。高齢者の介護予防・QOL向上に貢献するとともに介護予防ボランティアの育成を行う。

4. 子どもの健全育成に関する事業の開催及び支援

(予算額：1,100千円)

(1) 子どもの遊び場・居場所づくり事業

(予算額：400千円)

① 「みんなあつまれ！あそびの日」 ※子どもゆめ基金助成事業 交付予定額：221,000円

平成29年4月15日(土)～7月2日(日)の期間、県内各地15ヶ所で、子どもや親子を対象としたスポーツ・レクリエーションを実施し、子どもの健全育成に寄与する。

② 「あそびの日キャンペーン」を県内各地で実施。

5月第3日曜日を中心として、子どもから高齢者までを対象に身近な場所での遊び場・居場所づくりを推進する。誰でもが楽しめるニュースポーツ・伝承遊び・音楽遊び・読み聞かせ・野外活動等を実施し、仲間づくりと多世代交流を目的とした事業を開催する。

(2) こどもあそびフェスタ・ふくおか

(予算額：500千円)

※子どもゆめ基金助成事業 交付予定額：304,000円

実施期日 平成29年11月19日(日)

会場 筑後広域公園

受益対象者 主として子ども、家族を中心に不特定の県民5,000名

事業内容 「第4回福岡県市町村対抗駅伝大会」に協賛し開催。筑後地区レクリエーション協会及び種目団体の協力を得て、「スポーツ・レクリエーション広場」と「ウォークラリー交流大会」を同時開催し、子ども、仲間、家族との参加を呼びかけ、世代間交流を促すと共に青少年の健全育成に寄与する。

(3) 子どもの遊び支援者養成、体力づくり推進事業

(予算額：200千円)

子どものあそび指導者講習会」等を開催し、子どもの体力づくり・仲間づくりを推進すると共に、担い手となる人材の育成に努め、青少年の健全育成に寄与する。

5. 組織の育成強化・活動支援

(予算額：600千円)

(1) 加盟団体、有資格者の活動支援

(予算額：100千円)

年間を通じて加盟団体、レクリエーション有資格者の活動支援を行い、県民に対して多様なスポーツ・レクリエーション活動を展開する加盟団体主催事業を支援し指導力、運営力、組織力の向上に努める。

(2) 組織の育成・強化事業

(予算額：500千円)

常務理事会、専門部会会議、加盟団体会議、課程認定校会議等を開催し、加盟団体との連携強化を図る。また組織強化セミナーの開催など組織力の充実強化に努める。

①常務理事会

※事業の企画・運営機関として開催。また組織強化や事務局運営体制等について協議する。

②加盟団体代表者会議

※常務理事会及び理事会、事務局より運営についての報告、各団体の抱える課題についての協議を目的として開催する。

※随時、地区ごとの市町村レクリエーション協会及び種目・領域別加盟団体会議を開催する。

③課程認定校会議

※課程認定校生の抱える課題解決や養成等に関する協議や市町村レクリエーション協会、種目・領域団体との交流の促進を図る事業の協議を行う事を目的として開催する。

※レクリエーション・インストラクターの養成及び資格取得生に対するフォローを行い、更新率のアップを図るための協議を行う。

④人材育成部会

※市町村レクリエーション協会との連携を図り、人材育成に関する市町村レクリエーション協会代表者会議を開催する。

※レクリエーション・インストラクター資格証交付式の開催。有資格者のレベルアップと活用および組織力強化セミナー等の企画・運営、組織及び人材育成強化事業の検討を行う。

※新カリキュラム導入の伴う講師を対象にした研修会を開催する共に、市町村レクリエーション協会との連携したレクリエーション・インストラクターの養成に努める。

⑤健康・福祉部会

※県民の健康づくり、福祉の向上を図るため、充実した事業の展開の協議を行う事を目的として開催する。

※加盟団体との連携強化および意欲のある指導者を公募し、組織の充実を図り、健康長寿のまちづくりに貢献するための協議を行う。

⑥広報部会

※新たな市場の開拓及び人材確保に繋がる広報PR事業の企画・運営を目的として、広報部会を開催する。

※更新率アップに繋がる情報提供事業の充実に努める。

※広報力アップセミナーを開催し、加盟団体の組織強化の推進と共に、スポーツ・レクリエーションの普及・啓発の充実を図る。

⑦スポーツ・レクリエーション部会

※スポーツ・レクリエーションの普及・啓発及び人材育成事業の企画・運営を協議する目的として、スポーツ・レクリエーション部会を開催する。

※種目・領域団体代表者会議の開催及び事業を通しての連携を図ると共に、各団体の運営力・組織の強化を図る。

※収益に繋がる新規事業の開拓を検討する。

⑧年間を通じて、スポーツ振興（toto）くじ助成及び子どもゆめ基金助成を活用し、加盟団体事業の支援を行い、組織力の強化に努める。

6. 調査・研究事業

（予算額：500千円）

組織運営・事業実施力の充実・強化のため、第71回全国レクリエーション大会・北海道大会（平成29年9月15～17日）視察や、先進地の組織運営、事業内容等調査研究を行う。

また、「高齢者の生きがいづくり」「健康長寿まちづくり・人づくり」等調査研究を行う。

7. 普及奨励、広報啓発、情報提供

（予算額：4,600千円）

※スポーツ振興くじ（toto）助成事業 交付予定額：3,115,000円

（1）機関誌「県レクニュース」の発行

（予算額：2,500千円）

※スポーツ振興くじ（toto）助成事業

実施期日 機関誌「県レクニュース」を、年6回、84号～89号発行。

平成29年4月10日「84号」、6月10日「85号」、8月10日「86号」、

10月10日「87号」、12月10日「88号」、29年2月10日「89号」各4千部発行。

受益対象者 正会員、公認指導者・指導員、県民、行政、各種機関・団体、報道関係他延べ24千名

事業内容 多彩な情報発信を通じてレクリエーション協会事業への関心を高め事業への参加を促し、スポーツ・レクリエーションの普及・振興を図ると共に、県民の健康で豊かな生活づくりに寄与する。29年度より日本レクリエーション協会機関誌「Recrew」同封による送付ができなくなったため、県協会より直送することになった。

（2）広報力の強化事業

（予算額：100千円）

「広報力」のアップを図るためのセミナーの開催および加盟団体の広報力強化に繋がる情報提供を行い、各団体の組織力アップを図り、組織の活性化に貢献する。

◆新規事業

(3) ◆「協会のあゆみ（仮称）」の発行 (予算額：1,400千円)

編集委員会を発足し、県レクリエーション協会の発足から今日までが一望でき、また未来につなげるメッセージを織り込んだ「あゆみ」の編纂・発行を行う。

※発行予定日：平成30年1月6日（NPO法人化15周年記念日）

(4) スポーツ・レクリエーション用具・器具の紹介、斡旋 (予算額：500千円)

ニュースポーツや各種レクリエーション用具・教材を県内市町村スポーツ、生涯学習担当者や社会福祉協議会、老人クラブ、学校などにパンフレットを送付し紹介すると共に、求めに応じて斡旋する。

(5) 広報・啓発、相談・情報提供事業 (予算額：100千円)

様々な情報ツールや他団体の広報媒体を活用するなど、新規市場の開拓に結びつく広報事業を検討していくと共に、協会紹介リーフレットおよび資格制度と指導者の活動紹介等チラシを活用して、レクリエーション協会事業、資格取得後のフォロー、人材育成事業等、広報PRの強化を図る。

ホームページによる情報発信、電話、インターネット等による情報提供、相談に随時対応する。

テレビ、新聞等マスコミへの情報提供、フェイスブック、メーリングリストを活用し新鮮な情報発信を行い、生涯スポーツ・レクリエーションの普及・啓発に努める。

8. レクリエーション・カルチャー事業 (予算額：100千円)

「レクリエーション・カルチャー講座」の開催および生活を豊かにする文化的なレクリエーション事業の情報提供を行い、その魅力に学び、豊かなライフスタイルづくりに貢献する。